

冬道の安全運転1・2・3運動

実施期間【令和7年12月1日～令和8年2月28日】

～ 1割のスピードダウン 2倍の車間距離 3分早めの出発 ～

冬道の走行は、積雪、凍結等によるスリップ事故が発生しやすくなることから、安全な速度、車間距離、早めの出発を心がけて交通事故を防止しましょう。

◆ 運転の注意事項

- **急ブレーキ、急ハンドル、急加速はやめましょう。**
急な車線変更や**急ブレーキは厳禁**。先行車との車間距離は多めにとる。発進時はアクセルをじわりと踏み込む
- 橋の上、トンネルの出口、日陰部分などは、凍結、滑走が予想されることから手前で十分に減速しましょう。
- 猛吹雪や地吹雪により、急に視界が悪くなる現象（ホワイトアウト）が発生する場合もあります。暴風雪などの予報が出ているときは車の運転を控えましょう。視界不良で運転が困難な場合は、安全な場所に移動して天候回復を待ちましょう。
- **黒く見える凍結路面（ブラックアイスバーン）に注意**
昼間に積もった雪が溶けたときや、雨が降った後の冷え込みが強くなる夜間や明け方は、一見すると濡れたアスファルト路面のように黒く見えるのに、実は表面が凍っているブラックアイスバーンになる可能性が高い。
- 高速道路などで、追い越し車線を走る先行車が巻き上げる雪煙で突然視界が奪われることもあります。特に大型車が追い越してきた場合は注意しましょう。



帰社・退勤時は気を引き締めて

日没時刻が早くなっています。11月中に発生した、死亡事故は、いずれも、午後4時から午後6時の間に発生しました。仕事先から職場に戻る時や職場から自宅に帰る際は、気を引き締めて運転しましょう。

運転者の中には、暗くなつてもギリギリまで前照灯を点灯せず、前方が見えなくなつてはじめて点灯するケースが見られます。しかし、その段階では、他の車や歩行者が自分の車の存在を認識するのが遅れたり、気付かずに行動するなどして、交通事故につながるおそれがあります。**早め点灯で事故を防止しましょう。**

冬道の安全運転1・2・3運動

～ 1割のスピードダウン 2倍の車間距離 3分早めの出発 ～

[交通企画課]

降雪時には、交通渋滞・交通事故が多く発生することから、ゆとりを持った計画と行動を心がけましょう。



冬道の交通事故防止ポイント Point

凍結、滑走が予想される橋梁上、トンネル出口、カーブ、交差点、日陰などでは、手前で十分減速しましょう。路面が凍結していないように見える

ブラックアイスバーンや、大雪や地吹雪によって
ホワイトアウトが発生することに注意しましょう。



滑走事故防止三原則!!

- ① 急ブレーキをかけない
- ② 急ハンドルを切らない
- ③ 急加速しない



急加速!!

雪道は速度に注意!!



えっ!
止まれない!!



積雪・凍結路面では、車の停止距離が長くなります!
路面状況に応じた安全な速度で走行し、交差点付近
などでは、手前から十分に減速しましょう。